

～意見交換会開催のご報告～



小学校統廃合に関する意見交換会を開催しました。

※掲載するご意見は、ご意見の趣旨を踏まえ要約させていただきました。ご了承ください。

本市では、児童生徒にとってより良い教育環境を目指していくため、市内の小中学校に関する適正配置の具体的な推進に向けて取り組んでいるところです。12月に学校区ごとに開催しました意見交換会の主なご意見と回答の内容についてお知らせいたします。なお、会議録につきましては、市ホームページに掲載させていただきますので、ご参照ください。

問 教育委員会学校教育課
☎58-21111（内線7104）

三島小学校区における意見交換会開催概要（平成28年12月13日）



- 市民 合意の判断として「話し合いの中での客観的な機運が高まった時」としているが客観的な機運とはどういうことか。
- 市 皆様が心配や不安に思っていることに対して、解決策や妥協点を見つけないで、子ども達のことを考えた結果で判断していきたい。
- 市民 統合した学校に対しての市のビジョンがない。皆不安である。
- 市 統合した学校のビジョンについては、できる限り共有できるように進めていきたい。
- 市民 統廃合決定後にスクールバスの費用負担やルートを提示されても困る。そのような細かい部分も並行して進めて欲しい。
- 市 統合に関するスクールバス運行等については、保護者やこれから保護者になる方を含めてみんなで話し合っていきたい。
- 市民 跡地利用について、地域のコミュニティー施設として維持するとどれくらい費用がかかるのか。また誰が維持費を負担していくのか。
- 市 おそらく1千万程度。ただし、施設の利活用については、地域の皆様と話し合いをしながら考えていきたい。

豊小学校区における意見交換会開催概要（平成28年12月15日）



- 市民 PTA総会でのアンケート結果（賛成2、反対23、どちらでもない12）を市に提出させていただいた。市としてどう思うのか。
- 市 当然の結果と思う。今後はPTAの方々との意見を交わしながら、不安に思われている点を1つずつ解決していきたい。
- 市民 小張小学校を豊小学校に統合するという案はないのか。
- 市 市では様々なパターンを検討し、それらも踏まえた結果である。三島小と谷井田小と豊小で新しい学校を作っていきたいと考えている。
- 市民 子ども達に対するメリット・デメリットだけでなく、保護者、地域の方、教育者についても示して欲しい。全てが教育に関わる。
- 市 今後は、ある程度限定した出席者の中で意見交換する機会を設けていきたい。
- 市民 昨年と同じような内容の説明会であり納得がいかない。平成33年度の統合まで、あと数年しかない。通学路など、諸々の課題に対して具体的な提示があるべき。
- 市 通学路などは保護者の方と一緒に考えていきたい。諸々の課題については、次回はもう少し踏み込んだ具体案を提示していきたい。

小張小学校区における意見交換会開催概要（平成28年12月18日）



- 市民 資料にある小規模校・大規模校のメリット・デメリットの中で小張小に当てはまる事を教えてください。
- 市 小張小や陽光台小の場合も大部分当てはまる。大規模校のデメリットは工夫や努力で解決できるものが多い。しかし、小規模校のデメリットは、人数がないと解決できない事については工夫・努力では限界がある。
- 市民 陽光台小学校の現状を把握されているか。どれだけ問題があるかご存知か。自分は陽光台だが、周辺の人達は、皆「小張小がよかった」と言っている。
- 市 各学校の事情は常に報告を受けて把握している。子ども達があの学校で良かったというのは、将来、子ども達の心で決める事だと思う。
- 市民 小張小では、綱火など地域のアイデンティティーを学ぶ機会があったり、校長先生が全校生徒の名前を覚えてくれたり、歴史ある小さな学校ならではの良さがあった。陽光台小に統合することは、そういう良いものを無くすことになると思う。
- 市 小張小への思いは十分理解できる。この小張小はもう少し時間をかけて皆で考えていきたい。子ども達を中心に考えた時、どのような状況がいいのかを皆で考えていきたい。
- 市民 毎年20人以上の児童が小張地区にいる。統合が前提になれば、陽光台小への選択を促すことになり、小張小の縮小がさらに進んでしまう。一度、統合を白紙に戻して頂きたい。
- 市 この枠組みも適正配置審議会の答申を尊重して計画したものである。今後も話し合いを続けながら、これからの小張小学校をどんな学校にしていくかを考えていきたい。